

Pioneer

MVH-370

USB/チューナーメインユニット

取扱説明書

目次 4 ページ

carrozeria

安全のために必ずお守りください

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- 表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)

安全のために必ずお守りください



警告

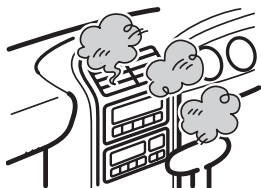
[異常時の処置]

故障のまま使用しない



画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。故障したときは、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

異常のまま使用しない



万一、内部に異物が入った・水がかかった・煙が出る・変なおいがするなど異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

[使用方法]

運転中に操作をしない



運転者は運転中に本機の操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作を行うときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。

目次

安全のために必ずお守りください

- 絵表示について 2
- 安全上のご注意 3

はじめに

- USB機器の接続6
- iPodの接続6
- バッテリー上がりを防ぐために6
- 初めて本体を使用する際の設定6
- デモモードについて7
- フロントパネルの取り外しかた／
取り付けかた8
- 各部のなまえ9

ここだけ読めばすぐ使えます

- 基本的な操作11
 - 電源 ON・OFF
 - ソース切り換え
 - 音量調節
- ラジオのふだんの操作11
 - バンドを選ぶ
 - 放送局を選ぶ
- USB機器のふだんの操作12
 - USB機器の曲を再生する
 - フォルダーを選ぶ 曲を選ぶ
 - 早送り・早戻し
- iPodのふだんの操作13
 - iPodの曲を再生する
 - 曲を選ぶ 早送り・早戻し
- よく使う機能をボタンですぐに
操作する14

USB機器を聞く

- ファンクションメニューの
切り換えかた15
- 繰り返し再生する15
- 違う曲順で再生する16
- 再生を一時停止する16
- 音を補正して高音質化する16
- タイトルやアーティスト名を表示する17
- タイトルから曲やフォルダーをさがす18

ラジオを聞く

- ファンクションメニューの
切り換えかた19
- 複数の放送局を自動的に登録する19
- 左右キーの機能を設定する19
- 放送局を1局ずつ登録する20
- 登録した放送局を呼び出す20

iPodを聞く

- 聞きたい曲をさがす21
- リスト表示をアルファベットで
検索する21
- タイトルやアーティスト名を
表示する22
- iPodで選曲して本機から
再生する22
- ファンクションメニューの
切り換えかた23
- 違う曲順で再生する24
- すべての曲をシャッフルしてから
再生する24
- 再生中の曲にリンクした曲を
再生する24
- オーディオブックの再生速度を
変更する25

音を調節する

- オーディオ調節メニューの
切り換えかた26
- 前後左右の音量バランスを調節する26
- イコライザーカーブを選択する27
- イコライザーカーブを調節する27
- 小さな音量でも聞きやすくする28
- サブウーファーのON / OFFと
位相切り換え28
- サブウーファーのカットオフ
周波数選択とレベル調節29
- 各ソースの音量をそろえる29

初期設定を変更する

- 初期設定メニューの切り換えかた …30
- 時計を合わせる ……30
- 外部機器（AUX）の音声を
聞けるようにする ……30
- USB/iPodソースの切り換え
方法を設定する ……31
- リアスピーカー出力を設定する ……31
- RCA出力から出力される
信号を選ぶ ……31
- フィーチャーデモを
ON / OFFする ……32
- スクロールの設定を切り換える ……32

便利な機能

- 交通情報を受信する ……33
- 時計を表示する ……33
- ボタンとディスプレイの
明るさを調節する ……33

取り付けの準備

- 接続・取り付け部品を確認する ……34
- 取り付けの前に知ってほしいこと…34
- 接続の前に知ってほしいこと ……35

接続・取り付けと動作確認

- 接続する ……36
- 本体を取り付ける ……41
- 動作を確認する ……42

付録

- WMA / MP3 / WAV
ファイルについて ……43
- USB機器について ……44
- USB機器内のフォルダーについて ……45
- iPodについて ……45
- 故障かな？と思ったら ……47
- こんなメッセージが表示されたら…48
- 保証書とアフターサービス ……50
- 商標・著作権など ……50
- おもな仕様 ……52

はじめに

ここだけ読めばすぐ使えます

USB機器を聞く

ラジオを聞く

iPodを聞く

音を調節する

初期設定を変更する

便利な機能

取り付けの準備

接続・取り付けと動作確認

付録

USB 機器の接続

対応する USB 機器や接続時のご注意については (➡ 「USB 機器について」 44 ページ、「おまな仕様」 52 ページ)。



ご注意

- 本機と組み合わせて使用しているときに USB 機器のデータが消失しても、消失したデータの補償についてはご容赦ください。
- USB 機器を本機に接続する際は、別売の USB ケーブル (例: CD-U51E) を使用してください。USB ケーブルを使わずに直接接続すると、USB 機器が突起物となり危険です。指定の USB ケーブル以外は、使用しないでください。

iPod の接続

本機は、iPod を本機の USB ポートに接続して操作できます。メインユニット側からの操作はもちろん、「コントロールモード」によって iPod 側からの操作が可能です。スムーズな選曲が実現できます。対応する iPod や接続時のご注意については (➡ 「iPod について」 45 ページ)。



メモ

- 本書では便宜上、iPod、iPhone を iPod と表記しています。



ご注意

- 本機と組み合わせて使用しているときに iPod のデータが消失しても、消失したデータの補償についてはご容赦ください。

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。

また、本機が電源 OFF のときでも、車のエンジンを止めた状態で、長時間、車のイグニッションスイッチを ON (または ACC) にしないでください。バッテリーが上がるおそれがあります。



ご注意

- 車のバッテリー交換などで本機に電源が供給されなくなると、本機は初期状態に戻ります。本機が初期状態に戻ると、ラジオのプリセットメモリー、時計、オーディオ調整などの設定内容は消去されてしまいます。ラジオのプリセットメモリーは (➡ 「放送局を 1 局ずつ登録する」 20 ページ)、時計調整は (➡ 「時計を合わせる」 30 ページ) を参照して、再設定してください。オーディオ調整の設定内容などは、メモしておくことをおすすめします。再設定の方法については、それぞれのページを参照してください。

初めて本体を使用する際の設定

本体の取り付け後、初めて電源を立ち上げたときに、セットアップメニューが自動で起動します。

1

本体を取り付けた後に、車のエンジンをかける



SET UP が表示されます。

2 ローターリーコマンドを回して、YESを選ぶ

メモ

- セットアップメニューで設定しない場合、ロータリーコマンドを回して、NO を選びます。

ご注意

- NO を選択すると、今後セットアップメニューでの設定はできません。その場合は、初期設定メニューで設定してください（➡「初期設定メニューの切り換えかた」30 ページ）。

3 ローターリーコマンドを押して、セットアップメニューを表示する

4 ローターリーコマンドを操作して、各メニューを設定する

以下の手順に従って、各メニューの設定を行ってください。

時計を合わせる (CLOCK SET)

- ① ローターリーコマンドを回して、時を合わせる
- ② ローターリーコマンドを押して、分に切り換える
- ③ ローターリーコマンドを回して、分を合わせる
- ④ ローターリーコマンドを押して、次のメニューに切り換える

フィーチャーデモを ON / OFF する (DEMO)

- ① ローターリーコマンドを回して、デモ設定を選ぶ

ON (オン)



OFF (オフ)

- ② ローターリーコマンドを押して、セットアップ確認画面に切り換える
QUIT が表示されます。

メモ

- 前のメニューに戻るには、を押します。

5 ローターリーコマンドを回して、YESに切り換える

メモ

- 設定画面に戻る場合は、NO に切り換えてください。

6 ローターリーコマンドを押して、設定を決定する

セットアップメニューでの設定が完了します。

ご注意

- 30 秒間何も操作しないと、セットアップメニューは自動的に解除されます。その場合はセットアップメニューでの設定はできなくなります。初期設定メニューで設定してください（➡「初期設定メニューの切り換えかた」30 ページ）。

デモモードについて

本機には、フィーチャーデモの機能があります。

ご注意

- 赤リード線 (アクセサリ電源) は、常に車のバッテリーから電源を供給する電源回路には接続しないでください。車のイグニッションスイッチと本機の電源を OFF にしても、フィーチャーデモが表示され、バッテリー上がりの原因になります。

フィーチャーデモについて

フィーチャーデモは、本機が電源 OFF のときや、30 秒間何も操作しないときに、各ソースや本機の機能 (ファンクションやエンタテインメントなど) の画面を表示して紹介する機能です。フィーチャーデモを解除したいときは (➡「フィーチャーデモを ON/OFF する」32 ページ) 車のエンジンを止めた状態でフィーチャーデモを長時間表示すると、バッテリー上がりの原因になります。

フロントパネルの取り外しかた／取り付けかた

盗難抑制のため、フロントパネルを取り外すことができます（タッチャブル機構）。



フロントパネルの取り扱い上のご注意

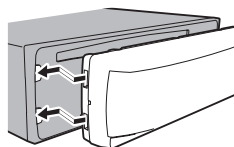
- フロントパネルを無理に引いて取り外さないでください。
- 取り外し、取り付けの際に、ディスプレイやボタンを強く持たないでください。
- 落とす、ぶつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障することがあります。
- 分解しないでください。
- ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。
- 汚れたときは、きれいな乾いた布でふいてください。その場合に、フロントパネルおよび本体の端子部をさわらないようにしてください。接触不良の原因となることがあります。
- フロントパネルのデタッチを行うときは、フロントパネルから AUX/USB ケーブルを取り外してください。取り外さなかった場合は、機器や車両の備品が破損するおそれがあります。
- 安全上、フロントパネルを外す時は車を停車してください。

フロントパネルの取り付けかた

1

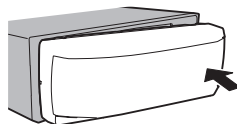
フロントパネルの左側を本体にあわせる

フロントパネルを本体の左側に確実に合わせてください



2

フロントパネルの右側を押し、本体に取り付ける



フロントパネルの取り外しかた

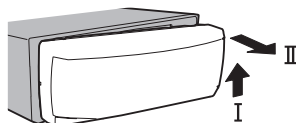
1

デタッチボタンを押して、ロックを解除する

2

フロントパネルの右側を上げ (I)、手前に引いて取り外す (II)

フロントパネルが外れます



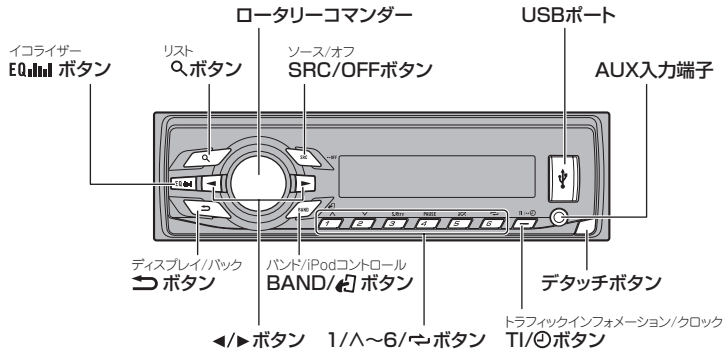
3

フロントパネルを保管する

取り外したフロントパネルは、ケースなどに入れて保管してください

各部のなまえ

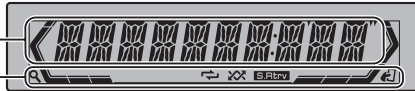
本体



ディスプレイ

メイン表示部

ソースやメディア・圧縮フォーマットなどによって、異なる情報を表示します。
 ラジオ：バンドと周波数
 WMA/MP3/WAV：フォルダー番号と再生経過時間
 ファンクション/オーディオ/初期設定：各種の設定内容



インジケータ表示部

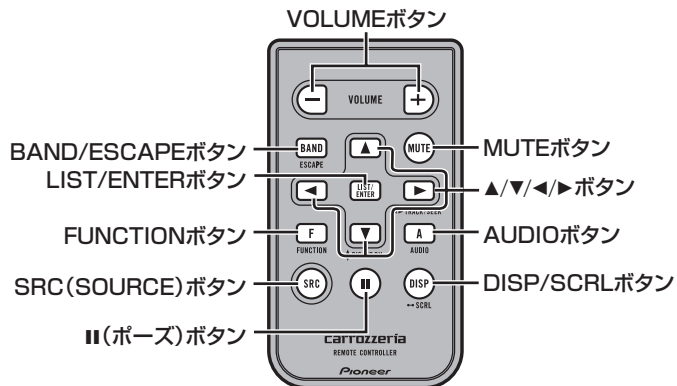
ソースやメディア・圧縮フォーマットなどによって、異なるインジケータを表示します。

| | | | |
|---|---|--------|---------------------------|
| Q | リストを表示しているときに、点灯します。 | S RTrv | サウンドレトリバーの設定がONのときに点灯します。 |
| ↺ | リピート再生時に点灯します。 | ↺ | iPodから操作できるときに、点灯します。 |
| ⊗ | ランダム再生時に点灯します。 iPodでシャッフルプレイまたは全曲シャッフルをしているときに点灯します。 | | |

別売のリモコン「CD-R500」について

別売のリモコン「CD-R500」で、本機を操作できます。

リモコンの取り扱いについては、リモコンの説明書をお読みください。



基本的な操作

電源 ON・OFF ソース切り換え 音量調節

1 SRC/OFFを押して、電源をONにする

本機の電源が ON になります。

2 SRC/OFFを押して、ソースを切り換える

押すごとに次のように切り換わります。



▼ ソースとは

- SRC/OFF を押すと切り換わる、USB/iPod や TUNER などの音源のことです。

3 音量を調節する

ロータリーコマンドを回す。

大きくするとき：右に回す
小さくするとき：左に回す

約 4 秒間、音量が表示されます。

4 SRC/OFFを長く押して、電源をOFFにする

電源が OFF になります。

✍️ メモ

- 音量の調節範囲は 0 ～ 62 です。
- USB/iPod ソース自動切り換え設定が ON の場合に、USB や iPod を接続したときに電源が ON になります (⇒ 「USB/iPod ソースの切り換え方法を設定する」 31 ページ)。
- 次の場合、該当のソースには切り換わりません。
 - ・ 対応する機器を接続していない
 - ・ AUX ソースを OFF にしている (⇒ 「外部機器 (AUX) の音声を聞けるようにする」 30 ページ)
- AUX は初期設定では ON に設定されています。使用しない場合は OFF に設定してください (⇒ 「外部機器 (AUX) の音声を聞けるようにする」 30 ページ)。

- 本機のアンテナコントロール線の接続状態によっては、ラジオが受信できない場合があります (⇒ 36 ページ)。また、オートアンテナ車のアンテナを下げる場合は、電源 OFF にしてください。
- 時計を表示させている場合、電源を OFF にしても時計は表示されます。

ラジオのふだんの操作

バンドを選ぶ 放送局を選ぶ

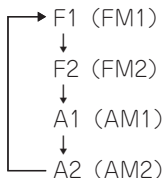
画面表示例



1 SRC/OFFを押して、ソースをTUNERに切り換える

2 BAND/📶を押して、バンドを選ぶ

押すたびに次の順序で切り換わります。



3 ◀または▶ ボタンを押して、プリセット番号順に受信する

⇒ 「登録した放送局を呼び出す」 20 ページ

次のプリセットチャンネルを選ぶ

： ▶ を押す

前のプリセットチャンネルを選ぶ

： ◀ を押す

📌 ご注意

- 左右キーを押したときの機能が MAN (手動選局) に設定されているときは、PCH (登録した放送局の選択) に切り換える必要があります (⇒ 「左右キーの機能を設定する」 19 ページ)。

次のページに続く

4 ◀または▶ ボタンを押して、放送局を選ぶ (手動選局)

高い周波数の放送局を選ぶ：▶ を押す
低い周波数の放送局を選ぶ：◀ を押す

📌 ご注意

- 左右キーを押したときの機能が PCH (登録した放送局の選択) に設定されているときは、MAN (手動選局) に切り換える必要があります (→「左右キーの機能を設定する」19 ページ)。

5 ◀または▶ ボタンを押し続けて離し、放送局を自動で選ぶ (自動選局)

高い周波数の放送局を自動で選ぶ
：▶ を長く押し続けて離す
低い周波数の放送局を自動で選ぶ
：◀ を長く押し続けて離す

📌 知っているとお便利

- ◀または▶ ボタンを押している間、途中の放送局を飛ばすことができます。離れたところから自動選局を開始します。

6 ほかのソースに切り換える。または、電源をOFFにする

ラジオの受信が終わります。

📌 知っているとお便利

- バンドごとに放送局を 6 局ずつ登録できます (→「複数の放送局を自動的に登録する」19 ページ、「放送局を 1 局ずつ登録する」20 ページ)。
- 電波の強い放送局を選局するには自動選局を、電波の弱い放送局を選局するには手動選局をおすすめします。

USB 機器のふだんの操作

USB 機器の曲を再生する フォルダーを選ぶ
曲を選ぶ 早送り・早戻し

画面表示例



1 USBポートのカバーを開けて、USB機器を接続する。または、USBソースに切り換える

再生が始まります。

2 1 / ^ または 2 / v ボタンを押して、フォルダーを選ぶ

次のフォルダーを選ぶ：1 / ^ を押す
前のフォルダーを選ぶ：2 / v を押す

3 ◀または▶ ボタンを押して、曲を選ぶ

次の曲を選ぶ：▶ を押す
前の曲を選ぶ：◀ を押す

4 ◀または▶ ボタンを押し続けて、早送り／早戻しする

早送り：▶ を長く押す
早戻し：◀ を長く押す



5 USB機器を外す。ほかのソースに切り換える。または、電源をOFFにする

USB の再生が終わります。

📌 ご注意

- USB 機器を本機に接続する際は、別売の USB ケーブル (例：CD-U51E) を使用してください。USB ケーブルを使わずに直接接続すると、USB 機器が突起物となり危険です。指定の USB ケーブル以外は、使用しないでください。
- 対応する USB 機器をご使用ください。ただし、対応する USB 機器でも正しく動作しない場合があります (→「USB 機器について」44 ページ)。
- USB 機器を使用するときのご注意については、→「USB 機器について」44 ページ。
- USB/iPod ソース自動切り換え設定が ON の場合、USB 機器によっては、接続したままエンジン を OFF から ON にしたとき、意図せずに USB ソースに切り換わる場合があります。必要に応じて設定を切り換えてください (→「USB/iPod ソースの切り換え方法を設定する」31 ページ)。
- 早送り／早戻ししているときには、音声は出力されません。

メモ

- USB 機器を接続したまま、電源を OFF にしたりほかのソースに切り換えることができます。
- USB 機器は、いつでも本機から取り外すことができます。
- BAND/  を長く押しすと、フォルダー 01 (ROOT) に戻ります。ただし、フォルダー 01 (ROOT) にファイルがない場合は、次のフォルダーから再生が始まります。
- USB 機器にバッテリー充電機能がある場合、エンジンスイッチが ACC または ON になっているときに USB 機器のバッテリーが充電されます。
- USB ソースでは、接続した USB 機器の情報を読みとる間、FRMT READ と表示されます。USB 機器の情報を読みとるため、再生までに時間がかかります。
- 接続する USB 機器にマストレージクラス対応のメモリデバイスが複数ある場合、再生するメモリデバイスを切り換えることができます。切り換えるときは、BAND/  を押します。切り換えられるメモリデバイスの数は 32 までです。

iPod のふだんの操作

iPod の曲を再生する 曲を選ぶ 早送り・早戻し

iPod Dock コネクタ (USB2.0 ケーブル用) を使って iPod を本機に接続し、操作できます。

画面表示例



1 USBポートのカバーを開けて、iPodを接続する。または、iPodソースに切り換える

再生が始まります。

2 1/△または2/▽ボタンを押して、アルバムを選ぶ

次のアルバムを選ぶ： 1/ △ を押し
前のアルバムを選ぶ： 2/ ▽ を押し

3 ◀または▶ボタンを押して、曲を選ぶ

次の曲を選ぶ： ▶ を押し
前の曲を選ぶ： ◀ を押し

4 ◀または▶ボタンを押し続けて、早送り/早戻しする

早送り： ▶ を長く押し
早戻し： ◀ を長く押し

5 iPodを外す。ほかのソースに切り換える。または、電源をOFFにする

iPod の再生が終わります。

ご注意

- iPod に同じ名前のアルバムが複数ある場合、1/ △ または 2/ ▽ ボタンを押してアルバムを選択できないことがあります。ブラウザーモード (→ 「聞きたい曲をさがす」 21 ページ) で聞きたいアルバムを選択してください。
- iPhone/iPod touch 以外では、再生範囲が 1 曲リピートのときは、◀ または ▶ ボタンを押して曲を選ぶことはできません。
- iPod には iPod 用 USB 変換ケーブルのみを接続してください。iPod 用 USB 変換ケーブル以外のものを接続すると、本機が正常に動作しないことがあります。
- 本機に接続する前に、iPod からヘッドホンを外してください。
- iPod を使用するときのご注意や iPod の設定については → 「iPod について」 45 ページ。

メモ

- 再生しているオーディオブック、Podcast やビデオファイル (コントロールモード中) などにチャプターがある場合、◀ または ▶ ボタンを押して、チャプターが選べます。
 - ・ 次のチャプターを選ぶ： ▶ を押し
 - ・ 前のチャプターを選ぶ： ◀ を押し
- エンジンスイッチが ACC または ON になっている場合、iPod のバッテリーが充電されます。
- コントロールモードを AUDIO に設定した場合、iPod は本機に接続されている間、iPod 自身で電源を OFF することはできません (→ 「iPod で選曲して本機から再生する」 22 ページ)。
- エンジンスイッチを OFF にして約 2 分後に、本機に接続されている iPod の電源も OFF になります。

よく使う機能をボタンで すぐに操作する

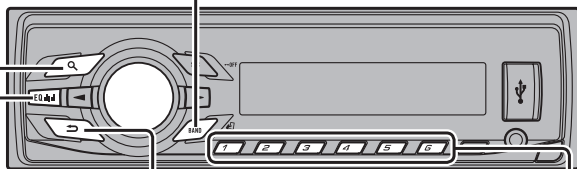
Qボタン

押すと、ソースごとに異なるリストが表示されます。

- USB → 18 ページ
- iPod → 21 ページ

BAND/🔊ボタン

iPod ソースのときに押すと、コントロールモードの設定が切り換わりやす (→ 22 ページ)。



EQ 📊 ボタン

押すたびに、あらかじめ用意されたイコライザーカーブを切り換えることができます (→ 27 ページ)。

↩ ボタン

押すたびに、ディスプレイの表示を切り換えることができます。

ファンクションメニューやオーディオ調節メニュー、初期設定メニューの表示中に押すと、1 つ上の階層に戻ります。



メモ

- ディスプレイの表示を変えられないソースもあります。

1/▲ (アップ) ボタン

USB/iPod ソースのときに押すと、次のフォルダーやアルバムに切り換わります (→ 12、13 ページ)。

2/▼ (ダウン) ボタン

USB/iPod ソースのときに押すと、前のフォルダーやアルバムに切り換わります (→ 12、13 ページ)。

3/S.Rtrv ボタン

USB/iPod ソースのときに押すと、アドバンスド・サウンドレトリバーの設定を切り換えることができます (→ 16、23 ページ)。

4/PAUSE ボタン

USB/iPod ソースのときに押すと、再生を一時停止できます (→ 16、23 ページ)。

5/🎲 (ランダム) ボタン

USB ソースのときに押すと、ランダムプレイを ON / OFF できます (→ 16 ページ)。

iPod ソースのときに押すと、全曲シャッフル再生します (→ 24 ページ)。コントロールモードを iPod または APP に切り換えたときは、シャッフル再生します (→ 24 ページ)。

6/🔄 (リピート) ボタン

USB/iPod ソースのときに押すと、再生範囲の設定を切り換えることができます (→ 15、23 ページ)。

ファンクションメニューの切り換えかた

「繰り返し再生する」「違う曲順で再生する」などの便利な機能は、ファンクションメニューで選んで操作します。

1 SRC/OFFを押して、ソースをUSBにする

→「基本的な操作」11 ページ

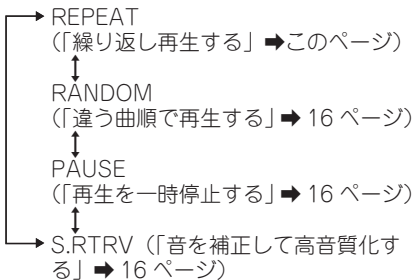
2 ロータリーコマンドを押して、メインメニューを表示する

3 ロータリーコマンドを回して、FUNCTIONを選ぶ

4 ロータリーコマンドを押して、ファンクションメニューを表示する

5 ロータリーコマンドを回して、機能を切り換える

次の順序で切り換わります。



メモ

- ふだんの再生画面に戻るには、BAND/🔊を押します (30 秒間、何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります)。

繰り返し再生する

REPEAT

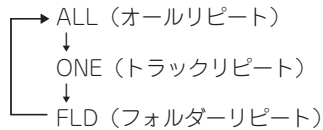
曲を繰り返し (リピート) 再生できます。繰り返しの範囲は、今聞いている曲やフォルダー全体などから選べます。

1 ロータリーコマンドを操作して、REPEATに切り換える

→「ファンクションメニューの切り換えかた」このページ

2 ロータリーコマンドを押して、再生範囲を切り換える

押すたびに次の順序で切り換わります。



オールリピート：
すべての曲を繰り返し再生します。

トラックリピート：
いま聞いている曲を繰り返し再生します。

フォルダーリピート：
いま聞いているフォルダーを繰り返し再生します。

3 BAND/🔊を押して、ふだんの再生画面に戻る

メモ

- 再生範囲は、6/🔊でも切り換えられます (→「よく使う機能をボタンですぐに操作する」14 ページ)。
- 選んだ再生範囲は、ランダムプレイの再生範囲に影響します。
- フォルダーリピートは、再生中のフォルダー内の曲だけを再生します。サブフォルダー内の曲は再生しません。

違う曲順で再生する

RANDOM

曲を順不同（ランダム）に再生できます。いつもと違った曲順で音楽を楽しみたいときに便利です。

1 ランダムプレイする範囲を選んでおく

ランダムプレイは、REPEAT で選んだ範囲で行われます（⇒「繰り返し再生する」15 ページ）。

2 ロータリーコマンドーを操作して、RANDOM を選ぶ


⇒「ファンクションメニューの切り換えかた」15 ページ

3 ロータリーコマンドーを押して、ランダムプレイ設定を ON にする

次の曲から、ランダムに再生されます。もう一度押すと、OFF になります。

4 BAND/◀ を押して、ふだんの再生画面に戻る

メモ

- 再生範囲がトラックリピートのときにランダムプレイ設定を ON にすると、圧縮オーディオの再生範囲がフォルダーリピートに切り換わってランダムプレイが行われます。
- ランダムプレイ中に曲を変更する場合は、▶ ボタンを押して切り換えてください。◀ ボタンを押すと、再生中の曲の先頭に戻ります。
- ランダムプレイは、5/  でも操作できます（⇒「よく使う機能をボタンですぐに操作する」14 ページ）。

再生を一時停止する

PAUSE

曲の再生を一時停止できます。

1 ロータリーコマンドーを操作して、PAUSE を選ぶ

⇒「ファンクションメニューの切り換えかた」15 ページ

2 ロータリーコマンドーを押して、再生を一時停止する

もう一度押すと、再生を再開します。

3 BAND/▶ を押して、ふだんの再生画面に戻る

メモ

- ポーズは、4/PAUSE でも操作できます（⇒「よく使う機能をボタンですぐに操作する」14 ページ）。

音を補正して高音質化する

S.RTRV

音の密度感や抑揚感を向上させて再生できます。

アドバンスド・サウンドレトリバーとは

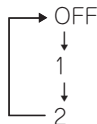
- アドバンスド・サウンドレトリバーは、音声の圧縮によって失われた音を補正し、CD に迫る高音質再生を実現します。

1 ロータリーコマンドーを操作して、S.RTRV に切り換える

⇒「ファンクションメニューの切り換えかた」15 ページ

2 ローターコマンドを押して、設定を切り換える

押すたびに次の順序で切り換わります。



メモ

- 1 は低圧縮率の音声、2 は高圧縮率の音声に適しています。

3 BAND/♫を押して、ふだんの再生画面に戻る

メモ

- アドバンスド・サウンドレトリバーは、3/S.Rtrv でも切り換えられます (➡「よく使う機能をボタンですぐに操作する」14 ページ)。

タイトルやアーティスト名を表示する

圧縮オーディオ再生中に、トラックタイトルやフォルダー名、アーティスト名などを表示させることができます。

ご注意

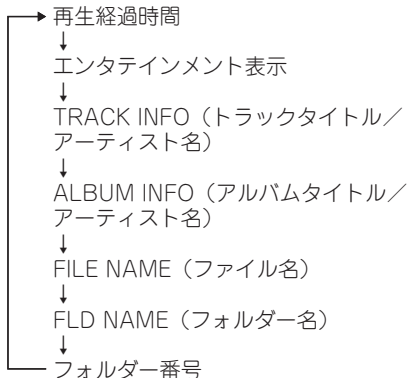
- 本機の文字表示は、半角英数字のみに対応しています。

1 SRC/OFFを押して、ソースをUSBにする

➡「基本的な操作」11 ページ

2 ➡を押して、表示を切り換える

押すたびに次の順序で切り換わります。



ご注意

- タイトル名などが収録されていない場合、表示を切り換えると、「[NO TITLE]」や「[NO NAME]」などが表示されます。
- ファイルをエンコード/ライティングしたアプリケーションによっては、ファイル名などが正しく表示されないことがあります。
- MP3 ファイルをライティングした iTunes のバージョンによっては、ファイル名などが正しく表示されないことがあります。
- WMA / MP3 / WAV 以外では、タイトルは表示しません。
- Windows Media Player 11 を使用して WAV ファイルをエンコードしたときに、WAV ファイルのファイル名などを表示させることができます。

タイトルから曲やフォルダーをさがす

圧縮オーディオの再生中に、曲名、ファイル名、フォルダー名の一覧（ファイル／フォルダーリスト）を見ながら、聞きたい曲、ファイル、フォルダーを選べます。



ご注意

- 本機の文字表示は、半角英数字のみに対応しています。

1 SRC/OFFを押して、ソースをUSBにする

➔ 「基本的な操作」11 ページ

2 Qを押して、ファイル／フォルダーリストを表示する

3 ロータリーコマンダーを回して、曲名、ファイル名、フォルダー名を切り換える

次の曲／ファイル／フォルダーを選ぶ

：右に回す

前の曲／ファイル／フォルダーを選ぶ

：左に回す

4 フォルダーの表示時に、ロータリーコマンダーを押して、そのフォルダー内のフォルダー／ファイルを表示する



メモ

- フォルダーが表示されているときにロータリーコマンダーを長く押すと、そのフォルダー内のはじめの曲から再生されます。

5 曲／ファイルの表示時に、ロータリーコマンダーを押して、再生する



メモ

- 再生は、曲／ファイルの表示時に ▶ ボタンを押すことで可能です。
- 前のリスト（1つ上の階層のフォルダー）に戻るには、⏪を押します。
- 最上位の階層に戻るには、⏪を長く押します。
- リスト表示中にふだんの再生画面に戻るには、BAND/⏪またはQを押します。
- ファイル／フォルダーリストは、必ず先頭・ROOTから表示されます。
- フォルダー内に再生できるファイルがない場合、「NO FILE」と表示されます。
- フォルダー内に再生できるファイルがない場合、ロータリーコマンダーを押しても再生されません。
- ファイル／フォルダーリストは、30秒間何も操作しないと自動的に解除されます。

ファンクションメニューの切り換えかた

「複数の放送局を自動的に登録する」機能は、ファンクションメニューで選んで操作します。

1 SRC/OFFを押して、ソースをTUNERにする

→「基本的な操作」11ページ

2 ローターリーコマンダーを押して、メインメニューを表示する

3 ローターリーコマンダーを回して、機能を切り換える

BSM（「複数の放送局を自動的に登録する」→このページ）

↓
SEEK（「左右キーの機能を設定する」→このページ）

4 ローターリーコマンダーを押して、ファンクションメニューを表示する

メモ

- ふだんの再生画面に戻るには、BAND/🔊を押します（30秒間、何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります）。

複数の放送局を自動的に登録する

BSM

BSM機能を使うと、受信状態の良い放送局を自動でさがして登録できます。登録された放送局をかんとんに受信できます。

BSMとは

- BSMは、「Best Stations Memory（ベストステーションズメモリー）」の略です。

1 SRC/OFFを押して、ソースをTUNERにする

→「基本的な操作」11ページ

2 BAND/🔊を押して、登録するバンドを選ぶ

3 ローターリーコマンダーを操作して、BSMにする

→「ファンクションメニューの切り換えかた」このページ

4 ローターリーコマンダーを押して、BSMによる登録を始める

登録が完了すると、1の番号に登録された局の放送を受信します。

メモ

- バンドごとに放送局を6局ずつ登録できます。
- 登録処理中にTI/🔊ボタンを押すと、処理を途中でやめることができます。
- 受信状態の良い放送局が6局より少ないときは、前に登録した内容が残ることがあります。

左右キーの機能を設定する

SEEK

◀、▶を押したときの機能の切り換えができません。

◀、▶で登録した放送局の切り換え、もしくは手動で選局することができます。

1 SRC/OFFを押して、ソースをTUNERにする

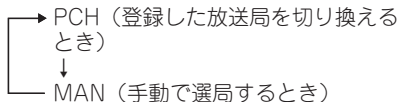
→「基本的な操作」11ページ

2 ローターリーコマンダーを操作して、SEEKにする

→「ファンクションメニューの切り換えかた」このページ

次のページに続く

3 ローターコマンドを押して、設定を切り換える



放送局を1局ずつ登録する

1～6のボタンを使って、よく聞く放送局を1局ずつ手動で登録できます(プリセットメモリー)。登録した放送局をかんとんに受信できます。

1 SRC/OFFを押して、ソースをTUNERにする

→「基本的な操作」11ページ

2 BAND/↔を押して、登録するバンドを選ぶ

3 ◀または▶を押して、登録する放送局を選ぶ

ご注意

- 左右キーを押したときの機能がPCH(登録した放送局の選択)に設定されているときは、MAN(手動選局)に切り換える必要があります(→「左右キーの機能を設定する」19ページ)。

4 1～6ボタンの1つを長く押して放送局を登録する

登録処理中にプリセット番号が点滅します。登録が完了すると、プリセット番号の点滅が終わり、その局の放送を受信します。

登録した放送局を呼び出す

BSMやプリセットメモリーで登録した放送局をかんとんに受信できます。

1 SRC/OFFを押して、ソースをTUNERにする

→「基本的な操作」11ページ

2 BAND/↔を押して、バンドを選ぶ

3 1/∧～6/↵ボタンを押して、登録した放送局を受信する

メモ

- ◀または▶ボタンを押して、順番に受信することもできます(→「ラジオのふだんの操作」11ページ)。

聞きたい曲をさがす

ジャンル、アーティスト、アルバムなどの項目から、お好みの曲を選んで再生できます。

📌 ご注意

- iPod に保存してあるファイルの数によっては、項目の表示に時間がかかる場合があります。
- 本機が表示できない文字が iPod に記録されている場合、その文字は表示されません。

1 SRC/OFFを押して、ソースをiPodにする

→ 「基本的な操作」 11 ページ

2 Qを押して、ブラウズモードにする

3 ロータリーコマンドーを回して選みたい項目を表示する

次の項目が表示できます。



4 ロータリーコマンドーを押して、項目を選ぶ

5 手順3、4の操作を繰り返して、項目を絞り込む

6 ロータリーコマンドーを回して、聞きたい曲を表示する

7 ロータリーコマンドーを押して、再生する

📌 メモ

- ▶ ボタンを押して、項目を選んだり曲を再生したりもできます。
- 前のリスト（1つ上の階層のフォルダー）に戻るには、⏪を押します。この操作は、◀ ボタンを押すことも可能です。
- 最上位の階層に戻るには、⏪を長く押しします。
- 再生したい項目を表示しているときにロータリーコマンドーを長く押しすと、その項目内の曲を最初からすべて再生できます。▶ ボタンを長く押しすることも可能です。
- リスト表示中にふだんの再生画面に戻るには、BAND/🔊を押します（30秒間、何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります）。

リスト表示をアルファベットで検索する

📌 ご注意

- アルファベット順に表示されるリストのときに操作できます。
- 頭文字が、半角のアルファベット、数字、および記号で記録されているものが対象です。

1 ロータリーコマンドーを操作して、選みたい項目のリストを表示する

2 Qを押して、アルファベットの入力画面を表示する

「SEARCH : A」と表示されます。

📌 メモ

- ロータリーコマンドーを素早く2回連続で回して、入力画面を表示させることもできます。

3 ロータリーコマンドーを回して、リストの先頭に表示したいアルファベットを選ぶ

4 ロータリーコマンドーを押して、選んだアルファベットから始まるリストを表示する

次のページに続く



メモ

- 対象のアルファベットが無い場合は、「NOT FOUND」と表示されます。

タイトルやアーティスト名を表示する

iPod に記録されている曲名やアーティスト名、アルバムタイトルなどを表示させることができます。



ご注意

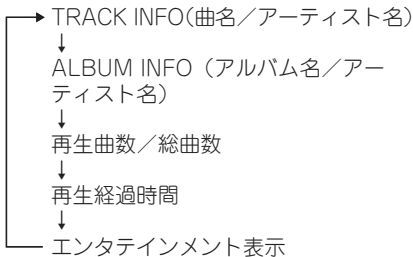
- 本機の文字表示は、半角英数字のみに対応しています。

1 SRC/OFFを押して、ソースをiPodにする

→「基本的な操作」11 ページ

2 トラックを押して、表示を切り換える

押すたびに次の順序で切り換わります。



メモ

- 本機で表示できない文字がiPod に記録されている場合、その文字は表示されません。

iPod で選曲して本機から再生する

CTRL

選曲などの操作を、本機と iPod のどちらでするか切り換えられます (コントロールモード)。iPod に設定すると、iPod の画面で操作できません。日本語のタイトルも、そのまま見て曲を選べるので便利です。

APP に設定すると、iPod アプリケーションからの音声を本機で再生できます。



ご注意

- 対応する iPod の最新の情報については、カロッツェリアホームページ (<http://carrozzeria.jp>) をご覧ください。
- APP モードに対応しているのは以下の iPod です。
 - 第4世代 iPod touch: Ver. 4.1以降
 - 第3世代 iPod touch: Ver. 3.0以降
 - 第2世代 iPod touch: Ver. 3.0以降
 - 第1世代 iPod touch: Ver. 3.0以降
 - iPhone 4: Ver. 4.1以降
 - iPhone 3GS: Ver. 3.0以降
 - iPhone 3G: Ver. 3.0以降

1 SRC/OFFを押して、ソースをiPodにする

→「基本的な操作」11 ページ

2 BAND/⏪を押して、コントロールモードを切り換える

押すごとに iPod、APP、AUDIO に切り換わります。

iPod :

iPod で選曲などの操作をします。

APP :

APP モードに対応している iPod で、iPod アプリケーションからの音声を再生します。

AUDIO :

本機で選曲などの操作をします。

**ご注意**

- iPod/APP に設定した場合は、以下の制限があります。
 - －ブラウザモード (⇒「聞きたい曲をさがす」21 ページ) には切り換わりません。
 - －音量は本機からしか調節できません。
- iPod/APP に設定すると、再生は停止されます。iPod を操作して、再生してください。

**メモ**

- コントロールモードを iPod/APP に設定していても、本機から次の操作ができます。
 - －一時停止
 - －選曲
 - －早送り/早戻し
 - － PAUSE と S.RTRV 機能の設定 (⇒「ファンクションメニューの切り換えかた」このページ)

ファンクションメニューの切り換えかた

「繰り返し再生する」「違う曲順で再生する」などの便利な機能を使うときは、ファンクションメニューで機能を選んで操作します。

1 SRC/OFFを押して、ソースをiPodにする

⇒「基本的な操作」11 ページ

2 ロータリーコマンドを押して、メインメニューを表示する

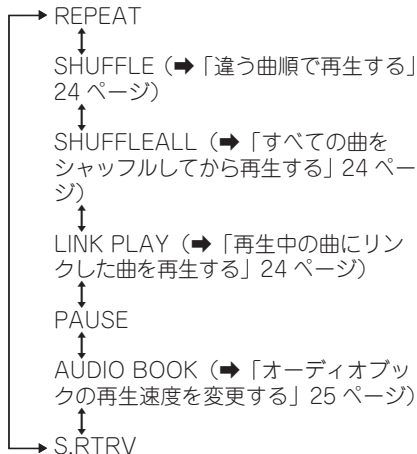
3 ロータリーコマンドを回して、FUNCTIONを選ぶ

4 ロータリーコマンドを押して、ファンクションメニューを表示する

5

ロータリーコマンドを回して、機能を切り換える

次の順序で切り換わります。

**メモ**

- コントロールモードを iPod/APP に設定しているときは、PAUSE と S.RTRV のみ選択できます。
- ふだんの再生画面に戻るには、BAND/🔊 を押します (30 秒間、何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります)。

ファンクションメニューの以下の機能は、USB 機器の場合と基本的に同じです。操作方法については、USB 機器のページをご覧ください。

| 機能 | 操作 |
|--------|--|
| | (⇒「繰り返し再生する」15 ページ) 切り換わる再生範囲は、USB 機器の場合とは異なります。 |
| REPEAT | OFF (オフ) (コントロールモード iPod 時) ↓ ONE (1 曲リピート) ↓ ALL (リスト内全曲リピート) |
| | 1 曲リピート： いま聞いている曲を繰り返し再生します。 リスト内全曲リピート： いま聞いているリスト内のすべての曲を繰り返し再生します。 |
| PAUSE | (⇒「再生を一時停止する」16 ページ) |
| S.RTRV | (⇒「音を補正して高音質化する」16 ページ) |

違う曲順で再生する

SHUFFLE

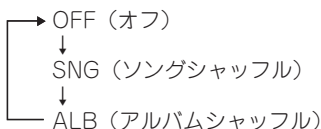
曲やアルバムを順不同（ランダム）に再生できます。いつもと違った曲順で音楽を楽しみたいときに便利です。

1 ロータリーコマンドーを操作して、SHUFFLEに切り換える

➔「ファンクションメニューの切り換えかた」23 ページ

2 ロータリーコマンドーを押して、シャッフルの種類を切り換える

押すたびに次の順序で切り換わります。



3 BAND/⏪ を押して、ふだんの再生画面に戻る

すべての曲をシャッフルしてから再生する

SHUFFLEALL

iPod のミュージックライブラリ内のすべての曲を順不同（ランダム）に再生できます。

1 ロータリーコマンドーを操作して、SHUFFLEALLに切り換える

➔「ファンクションメニューの切り換えかた」23 ページ

2 ロータリーコマンドーを押して、全曲シャッフルする

再生が始まり、ふだんの再生画面に戻ります。



メモ

- 全曲シャッフルを解除するには、SHUFFLEでOFFを選びます（➔「違う曲順で再生する」このページ）。
- 全曲シャッフルは、5/⏸でも開始できます（➔「よく使う機能をボタンですぐに操作する」14 ページ）。

再生中の曲にリンクした曲を再生する

LINK PLAY

再生中の曲にリンクしたリストの曲を再生します。現在の曲の再生が終わると、リンクした曲に切り換わります。再生できるのは次のリストにある曲です。

- ・再生中のアーティストのアルバムリスト
- ・再生中のアルバムに収録されている曲のリスト
- ・再生中のジャンルのアルバムリスト



ご注意

- リンクのサーチ条件に関連したリストがない場合は、「NOT FOUND」と表示されます。
- 曲によっては、切り換わる際に終わりや始まりの音が切れる場合があります。

1 ロータリーコマンドーを操作して、LINK PLAYに切り換える

→「ファンクションメニューの切り換えかた」23 ページ

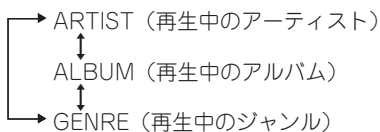
2 ロータリーコマンドーを押して、LINK PLAYを選ぶ

メモ

- リンクプレイには、ふだんの再生画面でロータリーコマンドーを長く押しでも切り換わります。

3 ロータリーコマンドーを回して、リンクのサーチ条件を切り換える

次の順序で切り換わります。



アーティスト：再生中のアーティストの曲

アルバム：再生中のアルバムに収録されている曲

ジャンル：再生中のジャンルの曲

4 ロータリーコマンドーを押して、リンクのサーチ条件を選ぶ

現在の曲の再生が終わると、リンクした曲に切り換わります。

ご注意

- リンクプレイ以外の操作を行うと、リンクプレイでの選択結果が解除される場合があります（例：早送り／早戻し）。

5 ロータリーコマンドーを操作して、アルバムまたは曲を選ぶ

→「聞きたい曲をさがす」21 ページ

オーディオブックの再生速度を変更する

AUDIO BOOK

オーディオブックの再生速度を変更できます。

1 ロータリーコマンドーを操作して、AUDIO BOOKに切り換える

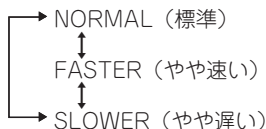
→「ファンクションメニューの切り換えかた」23 ページ

2 ロータリーコマンドーを押して、AUDIO BOOKを選ぶ

現在の設定内容が表示されます。

3 ロータリーコマンドーを回して、設定を切り換える

次の順序で切り換わります。



4 ロータリーコマンドーを押して、設定を決定する

メモ

- ロータリーコマンドーを押す前に、ファンクションメニューまたはふだんの再生画面に戻っても、設定は決定されます。

5 BAND/📁を押して、ふだんの再生画面に戻る

オーディオ調節メニューの切り換えかた

「前後左右の音量バランスを調節する」などの音質調節機能を使うときは、オーディオ調節メニューで操作します。

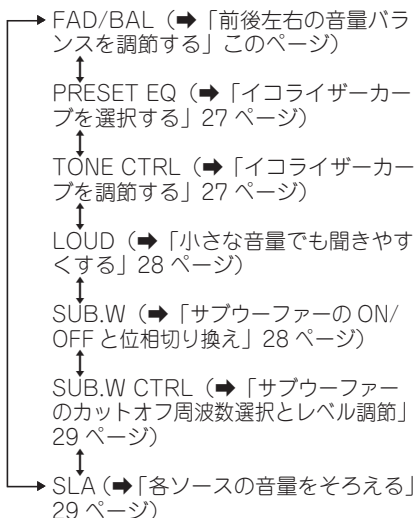
1 ロータリーコマンダーを押して、メインメニューを表示する

2 ロータリーコマンダーを回して、AUDIOを選ぶ

3 ロータリーコマンダーを押して、オーディオ調節メニューを表示する

4 ロータリーコマンダーを回して、機能を切り換える

次の順序で切り換わります。



メモ

- ふだんの再生画面に戻るには、BAND/ を押します (30 秒間、何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります)。

ご注意

- ラジオの FM を聞いているときは、SLA には切り換わりません。

- 交通情報を受信しているときは、FAD/BAL のみ選択できます。
- SUB.W を OFF に設定しているときは、SUB.W CTRL には切り換わりません。
- 初期設定の REAR-SP を FUL に、PREOUT を REA に設定しているときは、SUB.W と SUB.W CTRL には切り換わりません (→「初期設定メニューの切り換えかた」30 ページ)。

前後左右の音量バランスを調節する

FAD/BAL

前後左右のスピーカーからの音量バランスを調節できます。より自然に聞こえるバランスに設定してください。

1 ロータリーコマンダーを操作して、FAD/BALに切り換える

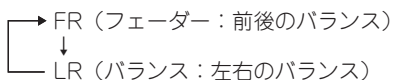
→「オーディオ調節メニューの切り換えかた」このページ

2 ロータリーコマンダーを押して、FAD/BALを選ぶ

現在の設定内容が表示されます。

3 ロータリーコマンダーを押して、設定内容を切り換える

次の順序で切り換わります。



4 ロータリーコマンダーを回して、音量バランスを調節する

■前後を調節するとき

- 前を強める：
手順 3 で FR を選び、右に回す
- 後ろを強める：
手順 3 で FR を選び、左に回す

前後のバランスは、F15 ~ R15 の範囲で調節できます。

■左右を調節するとき

右を強める：
手順3でLRを選び、右に回す
左を強める：
手順3でLRを選び、左に回す

左右のバランスは、L15～R15の範囲で調節できます。

5 BAND/🔍を押して、ふだんの再生画面に戻る

📌 ご注意

- REAR-SPとPREOUT (→「リアスピーカー出力を設定する」, 「RCA出力から出力される信号を選ぶ」31ページ)を「SW」に設定しているときは、左右のバランスのみ調節できます。

イコライザーカーブを選択する

PRESET EQ

あらかじめ用意されたイコライザーカーブを選ぶだけで、好みの音質にできます。

1 ロータリーコマンドーを操作して、PRESET EQに切り換える

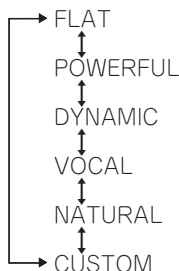
→「オーディオ調節メニューの切り換えかた」26ページ

2 ロータリーコマンドーを押して、PRESET EQを選ぶ

現在の設定内容が表示されます。

3 ロータリーコマンドーを回して、イコライザーカーブを切り換える

次の順序で切り換わります。



📌 メモ

- FLATは、イコライザーによる音の補正がされていません。
- イコライザーカーブはEQ🔍を押して切り換えることもできます。

4 ロータリーコマンドーを押して、設定を決定する

📌 メモ

- ロータリーコマンドーを押す前に、オーディオメニューまたはふだんの再生画面に戻っても、設定は決定されません。

5 BAND/🔍を押して、ふだんの再生画面に戻る

イコライザーカーブを調節する

STONE CTRL

あらかじめ用意されたイコライザーカーブに補正を加えることができます。これにより、よりお好みであった音質を作り出すことができます。設定したイコライザーカーブは、自動的に“CUSTOM”カーブに登録されます。

1 ロータリーコマンドーを操作して、TONE CTRLに切り換える

→「オーディオ調節メニューの切り換えかた」26ページ

2 ロータリーコマンドーを押して、TONE CTRLを選ぶ

現在の設定内容が表示されます。

3 ロータリーコマンドーを押して、設定する音域を切り換える

押すたびに次の順序で切り換わります。



次のページに続く

4 ロータリーコマンドを回して、レベルを調節する

レベルを大きくする：右に回す
レベルを小さくする：左に回す

レベルは、-6 ~ +6 の範囲で調節できます。

5 BAND/🔊を押して、ふだんの再生画面に戻る

小さな音量でも聞きやすくする

LOUD

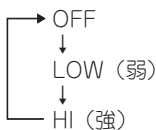
小さな音量で音楽を聞いていると、低音・高音が不足しているように感じることがあります。LOUDネスを使うと、この不足感を補って、音を聞きやすくすることができます。

1 ロータリーコマンドを操作して、LOUDに切り換える

➔「オーディオ調節メニューの切り換えかた」26 ページ

2 ロータリーコマンドを押して、LOUDネスの効果を切り換える

押すたびに次の順序で切り換わります。



メモ

- ロータリーコマンドを押す前に、オーディオ調節メニューまたはふだんの再生画面に戻っても、設定は決定されます。

3 BAND/🔊を押して、ふだんの再生画面に戻る

サブウーファースの ON / OFF と位相切り換え

SUB.W

本機にサブウーファースを接続して使用する場合は、サブウーファースの設定を ON にする必要があります。ON にしたあと、サブウーファースから出力される音が自然に聞こえるように、位相を切り換えてください。

? 位相切り換えとは

- サブウーファースから出力される音の中には、フロント/リアスピーカースから出力される音と同じ周波数帯域の成分が含まれています。車内条件により、これらの音の位相が反転(干渉)し、打ち消し合ってしまうことがあります。この現象を防ぐために、車内条件に合わせて位相を正相または逆相に切り換えてください。

正相：サブウーファースの音が、フロント/リアスピーカースと同時に出力される

逆相：サブウーファースの音が、フロント/リアスピーカースとタイミングをずらして出力される

1 ロータリーコマンドを操作して、SUB.Wに切り換える

➔「オーディオ調節メニューの切り換えかた」26 ページ

2 ロータリーコマンドを押して、サブウーファースの位相を選ぶ

押すたびに次の順序で切り換わります。



3 BAND/🔊を押して、ふだんの再生画面に戻る

サブウーファースのカットオフ周波数選択とレベル調節

SUB.W CTRL

サブウーファーから出力される低音域（カットオフ周波数）と出力レベルを設定します。他のスピーカーから出力される音とのつながりが自然になるように設定してください。

カットオフ周波数とは

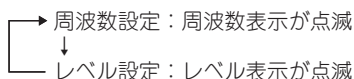
- 選んだ周波数よりも上の周波数（もしくは下の周波数）の音域をカットします。このときに選択する周波数を、カットオフ周波数と呼びます。サブウーファースのカットオフ周波数の設定では、カットオフ周波数よりも上の音域がカットされ、低音域だけが出力されます。また、カットオフ周波数以下の音域の出力レベルを上げることで、低音をさらに強調させることもできます。

1 ロータリーコマンドーを操作して、SUB.W CTRLに切り換える

⇒「オーディオ調節メニューの切り換えかた」26 ページ

2 ロータリーコマンドーを押して、設定内容を切り換える

押すたびに次の順序で切り換わります。



3 ロータリーコマンドーを回して、サブウーファー調整をする

■周波数設定を調節するとき

高い周波数を選ぶとき：右に回す
低い周波数を選ぶとき：左に回す

カットオフ周波数は、50 Hz、63 Hz、80 Hz、100 Hz、125 Hz の中から選べます。

■レベルを調節するとき

レベルを大きくするとき：右に回す
レベルを小さくするとき：左に回す

レベルは、- 24 ~ + 6 の範囲で調節できます。

4 BAND/🔊を押して、ふだんの再生画面に戻る

各ソースの音量をそろえる

SLA

ソースを切り換えたときに、ソースごとの音量が違うことがあります。SLA を使うと、FM の音量を基準にして各ソースの音量をそろえることができます。

SLA とは

- SLA は、「Source Level Adjuster（ソースレベルアジャスター）」の略です。

ご注意

- ラジオの FM を聞いているときは、SLA には切り換わりません。

1 ロータリーコマンドーを操作して、SLAに切り換える

⇒「オーディオ調節メニューの切り換えかた」26 ページ

2 ロータリーコマンドーを押して、SLAを選ぶ

現在の設定内容が表示されます。

3 ロータリーコマンドーを回して、レベルを調節する

レベルを大きくする：右に回す
レベルを小さくする：左に回す

レベルは - 4 ~ + 4 の範囲で設定できます。

4 ロータリーコマンドーを押して、設定を決定する

メモ

- ロータリーコマンドーを押す前に、オーディオ調節メニューまたはふだんの再生画面に戻っても、設定は決定されます。

5 BAND/🔊を押して、ふだんの再生画面に戻る

初期設定メニューの切り換えかた

「時計を合わせる」などの機能は、初期設定メニューで操作します。初期設定メニューは、電源を OFF にした状態で操作します。

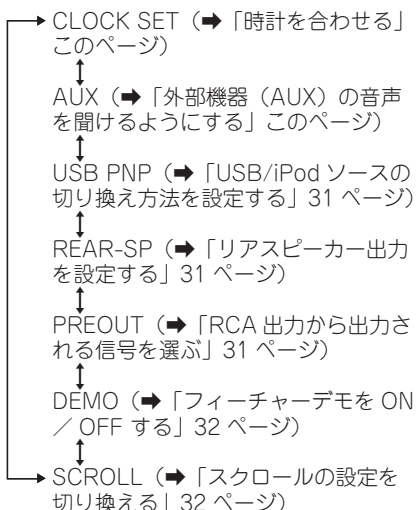
1 SRC/OFFを長く押して、本機の電源をOFFにする

2 ロータリーコマンドを長く押して、初期設定メニューに切り換える

初期設定メニューに切り換わると、「CLOCK SET」と表示されます。

3 ロータリーコマンドを回して、機能を切り換える

次の順序で切り換わります。



メモ

- 初期設定メニューを解除するときは、BAND/🔊を押します（初期設定メニューを解除すると、電源が OFF になります）。

時計を合わせる

CLOCK SET

時計を表示するために、時計を合わせておきます。

1 ロータリーコマンドを操作して、CLOCK SETにする

→「初期設定メニューの切り換えかた」このページ

2 ロータリーコマンドを押して、CLOCK SETを選ぶ

現在の設定内容が表示されます。

3 ロータリーコマンドを押して、時と分を切り換える

4 ロータリーコマンドを回して、時刻を合わせる

時刻を進める：右に回す
時刻を戻す：左に回す

分を調整すると、0 秒からカウントが始まります。

5 BAND/🔊を押して、初期設定メニューを解除する

電源が OFF になります。

外部機器 (AUX) の音声を聞けるようにする

AUX

本機にポータブル音楽再生機器や、VTR などの外部機器を接続して、その音声を聞くことができます。

外部機器を接続するには

- 本機に外部機器を接続するには、本機前面にある AUX 入力端子に、3.5 mm φステレオミニジャックを差し込みます。

1 ローターコマンドーを操作して、AUXにする

→「初期設定メニューの切り換えかた」
30 ページ

2 ローターコマンドーを押して、外部機器設定をONにする

もう一度押すと、OFF になります。

3 BAND/🔊 を押して、初期設定メニューを解除する

電源が OFF になります。



メモ

- AUX は、初期状態で ON になっています。AUX を使用しない場合は、OFF にします。

USB/iPod ソースの切り換え方法を設定する

USB PNP

本機能の設定により、USB/iPod ソースの切り換え方が異なります。

- ・ON : USB/iPod を接続すると、USB/iPod ソースに切り換わります。取り外すと、電源 OFF になります。
- ・OFF : USB/iPod を接続しても、USB/iPod ソースに自動では切り換わりません。USB/iPod ソースには手動で切り換えてください。

1 ローターコマンドーを操作して、USBにする

→「初期設定メニューの切り換えかた」
30 ページ

2 ローターコマンドーを押して、USB/iPodソース自動切り換え設定をONにする

もう一度押すと、OFF になります。

3 BAND/🔊 を押して、初期設定メニューを解除する

電源が OFF になります。

リアスピーカー出力を設定する

REAR-SP

リアスピーカー出力に接続するスピーカーの種類に合わせて、リアスピーカーの出力方法を選びます。

- ① リアスピーカーを接続するとき：「FUL」に設定します
- ② サブウーファーを接続するとき：「SW」に設定します

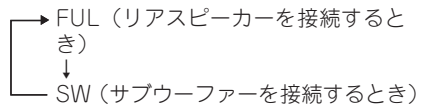
1 ローターコマンドーを操作して、REAR-SPにする

→「初期設定メニューの切り換えかた」
30 ページ

2 ローターコマンドーを押して、REAR-SPを選ぶ

3 ローターコマンドーを押して、設定を切り換える

押すたびに次の順序で切り換わります。



4 BAND/🔊 を押して、初期設定メニューを解除する

電源が OFF になります。

RCA 出力から出力される信号を選ぶ

PREOUT

本機の RCA 出力端子に外部アンプを接続し、フルレンジスピーカーまたはサブウーファーを使用できます。接続するスピーカーに合わせて、RCA 外部出力端子から出力される信号を選びます。

- ① リアスピーカーを接続するとき：「REA」に設定します
- ② サブウーファーを接続するとき：「SW」に設定します

次のページに続く

1 ロータリーコマンドーを操作して、PREOUTにする

→「初期設定メニューの切り換えかた」
30 ページ

2 ロータリーコマンドーを押して、PREOUTを選ぶ

3 ロータリーコマンドーを押して、設定を切り換える

押すたびに次の順序で切り換わります。

→ REA (リアスピーカーを接続するとき)
↓
SW (サブウーファーを接続するとき)

4 BAND/を押し、初期設定メニューを解除する

電源が OFF になります。

フィーチャーデモを ON / OFF する

DEMO



フィーチャーデモとは

- フィーチャーデモは、本機が電源 OFF のときや、30 秒間何も操作しないときに、各ソースや本機の機能（ファンクションやエンタテインメントなど）の画面を表示して紹介する機能です。

1 ロータリーコマンドーを操作して、DEMOにする

(→「初期設定メニューの切り換えかた」
30 ページ)

2 ロータリーコマンドーを押して、フィーチャーデモをOFFにする

もう一度押すと、ON になります。

3 BAND/を押して、初期設定メニューを解除する

電源が OFF になります

スクロールの設定を切り換える

SCROLL

連続スクロール設定を ON にすると、圧縮オーディオファイルのタイトルなどを連続してスクロールするようになります。スクロールを一度だけにしたいときは、この機能を OFF にします。

1 ロータリーコマンドーを操作して、SCROLLにする

→「初期設定メニューの切り換えかた」
30 ページ

2 ロータリーコマンドーを押して、連続スクロール設定をONにする

もう一度押すと、OFF になります。

3 BAND/を押して、初期設定メニューを解除する

電源が OFF になります。

交通情報を受信する

高速道路などで放送されている交通情報ラジオを、瞬時に受信できます。交通情報は、電源 OFF のときでも、どのソースからでも受信できます。

1 TI/Ⓞを押して、交通情報を受信する

もう一度押すと、交通情報を受信する前の状態に戻ります。

2 ◀ または ▶ ボタンを押す

交通情報の周波数を切り換えます。

1 620 kHz を選ぶとき： ▶ を押す

1 629 kHz を選ぶとき： ▶ を押す

メモ

- 交通情報を受信しているときに音量を調節すると、交通情報用の音量として設定できます。

時計を表示する

本機のディスプレイに、時計を表示できます。時計は、本機の電源が ON のときも OFF のときも表示させることができます。

ご注意

- フィーチャーデモが ON のときは時計は表示されません。表示させる場合は、フィーチャーデモを OFF にしてください（→「フィーチャーデモを ON/OFF する」32 ページ）。

時計について

- 時計を合わせるには（→「時計を合わせる」30 ページ）

1 TI/Ⓞを長く押して、時計を表示する

もう一度長く押すと、時計表示が解除されます。

メモ

- 本機の電源が ON のときは、時計表示中にほかの操作をすると、時計表示は一度解除されます。この場合、25 秒後に時計表示に戻ります。

ボタンとディスプレイの明るさを調節する

DIMMER

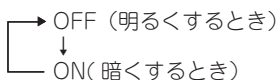
1 ロータリーコマンドーを押して、メインメニューを表示する

2 ロータリーコマンドーを回して、ILLUMIを選ぶ

3 ロータリーコマンドーを押して、DIMMERを表示する

4 ロータリーコマンドーを押して、設定を切り換える

押すたびに次の順序で切り換わります。



メモ

- ◂ を長く押しても、明るさを調節できます。

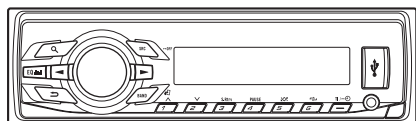
●接続・取り付け上のご注意

- 車への取り付けは、必ず本書と、別冊の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や、指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。
- 別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も併せてご覧ください。

接続・取り付け部品を確認する

●本体関係

本体 × 1



トラスネジ (5 mm × 8 mm) × 4



皿ネジ (5 mm × 9 mm) × 4



●コード関係

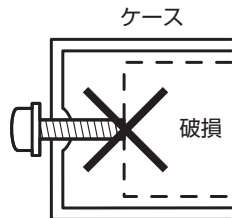
電源コード × 1



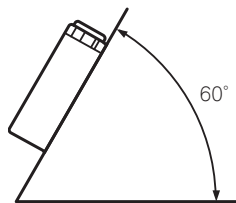
取り付けの前に知ってほしいこと

●取り付け上のご注意

- 必ず本機および取付キットに付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できず外れたりして危険です。



- 本機の性能を十分に発揮するために、水平に対して 60 度以内の角度で取り付けてください。



●取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

- まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

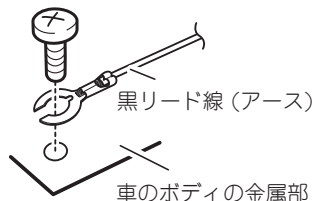
取付キットを別売しています

- 車種や年式によっては、別売のパイオニア製取付キットを使用しないと、取り付けられないこともあります。当社では車種別専用取付キットを用意していますので、販売店にご相談ください。
- ダッシュボード下へ取り付ける場合は、D サイズ用汎用取付ケースやアンダーダッシュ用取付キットをご使用ください。

接続の前に知ってほしいこと

●接続上のご注意

- 本機の黒リード線（アース）を必ず最初に車のボディの金属部に確実に接続してください。



- 赤リード線（アクセサリ電源）は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には、接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗してしまいます。
- 本機のアンプには BPTL という回路を使用しています。スピーカーのリード線をアースに接続したり、複数のスピーカーの(-)リード線を、共通にして接続したりしないでください。
- 本機と組み合わせるスピーカーには、最大入力 50 W 以上のハイパワー用で、インピーダンスが 4 Ω から 8 Ω のものを使用してください。規格以外のスピーカーのご使用は、スピーカーの発火・発煙・破損の原因となります。
- 黒リード線（アース）は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となるおそれがあります。
- ガラスアンテナ車は、アンテナプースターの電源を、必ず本機の青リード線（アンテナコントロール）に接続してください。接続を忘れるとラジオが受信できません。

アンテナプースターの電源の位置は、車種によって異なります。（ラジオが ON にならないと、プースターが ON にならない車もあります。）詳しくは、取り付け技術のある販売店にご相談ください。

●接続のポイント

ノイズ防止のために

- アンテナコードは、スピーカーコードおよび電源リード線からできるだけ離して配置してください。

電源配線キットを別売しています

- システム全体の消費電流が大きくなる場合は、バッテリーから直接電源をとることをおすすめします。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

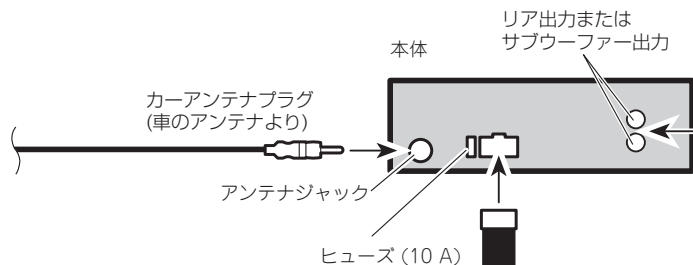
●バッテリー交換時のご注意

- 車のバッテリー交換などで本機に電源が供給されなくなると、本機は初期状態に戻ります。本機が初期状態に戻ると、ラジオのプリセットメモリー、時計、オーディオ調節などの設定内容は消去されてしまいます。ラジオのプリセットメモリー（→「放送局を1局ずつ登録する」20ページ）や時計調節（→「時計を合わせる」30ページ）を再設定してください。オーディオ調節の設定内容などは、メモしておくことをおすすめします。再設定の方法については、それぞれのページを参照してください。

接続する

本機のスピーカーリード線にリアスピーカーを接続する場合

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。



注：ヒューズを交換するときは、必ず同じ容量のヒューズと交換してください。

接続・取り付けと動作確認

アンテナコントロール

アンテナをコントロールするために使用します。
(12 V DC、300 mA以内でご使用ください。)
下記車両については未接続状態の場合ラジオが受信できない場合がありますので必ず接続してください。

- オートアンテナ車の場合：
車側のオートアンテナのコントロール入力端子に接続してください。
※アンテナを下げる場合は、電源OFFにしてください。
- ルーフアンテナ車やガラスアンテナ車などの場合：
車側のアンテナプスターの電源入力端子に接続してください。

青



電源コード

注：製品の発煙・故障を防ぐために、黒リード線を必ずいちばん初めに接続してください。

アース

車のボディの金属部に確実に接続してください。

黒



アクセサリ電源

車のエンジンスイッチをACCの位置にしたときに電源が供給される電源回路に接続してください。

赤



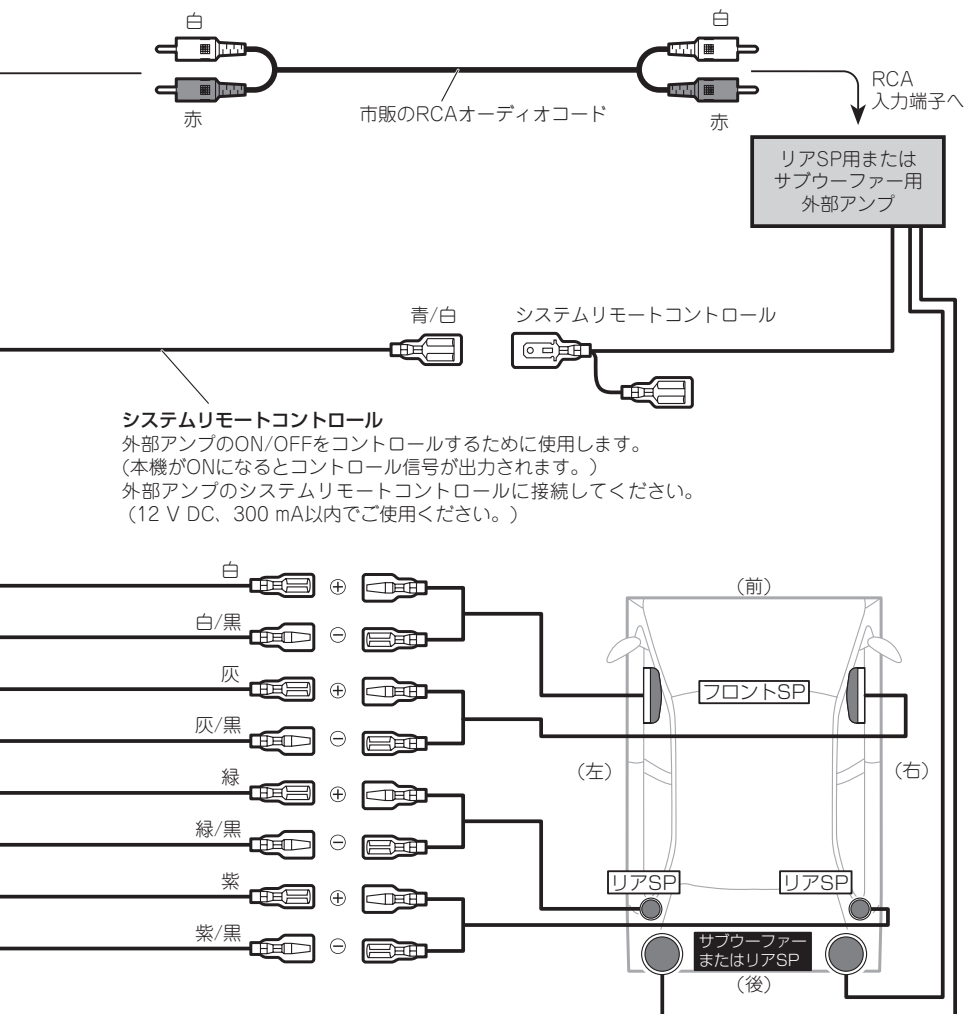
+バッテリー電源

車のエンジンスイッチのON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続してください。

黄



注：赤、黄リード線は車のヒューズユニットを通した後の端子に接続してください。



システムリモートコントロール

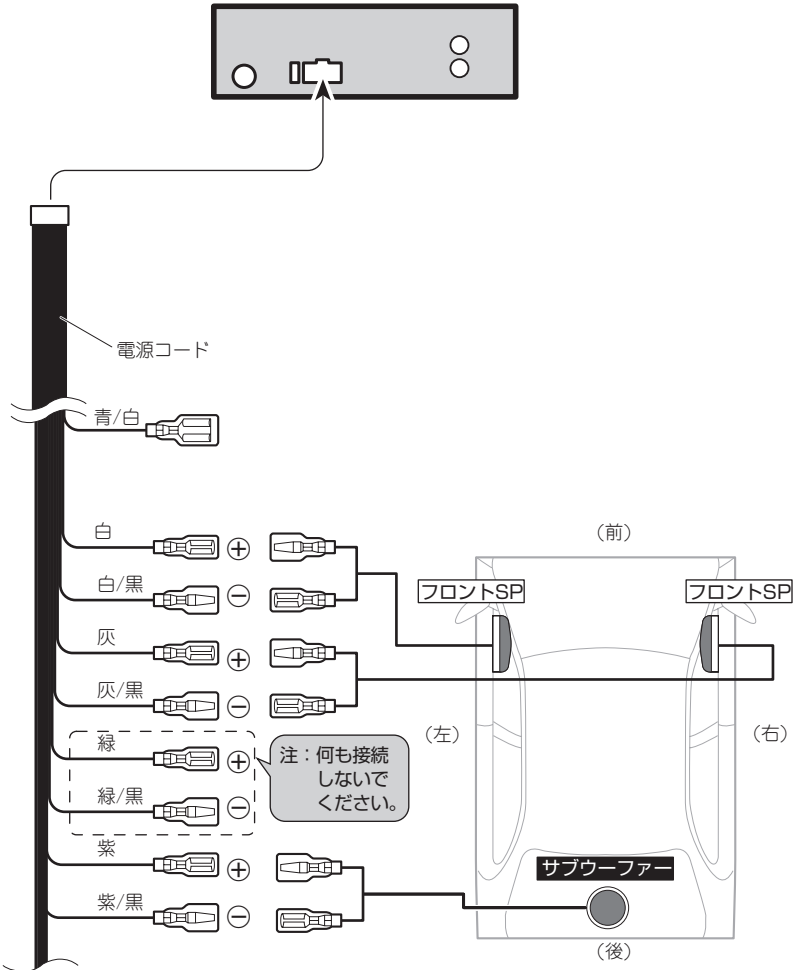
外部アンプのON/OFFをコントロールするために使用します。
 (本機がONになるとコントロール信号が出力されます。)
 外部アンプのシステムリモートコントロールに接続してください。
 (12 V DC、300 mA以内でご使用ください。)

注：・スピーカーを接続しないスピーカーリード線には、何も接続しないでください。
 ・RCA出力に接続するスピーカーに合わせてREAR-SP、PREOUT
 (⇒「リアスピーカー出力を設定する」、「RCA 出力から出力される信号を選ぶ」31ページ)の設定を切り替えてください。

本機のスピーカーリード線にサブウーファーを接続する場合 (1)

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

接続・取り付けと動作確認

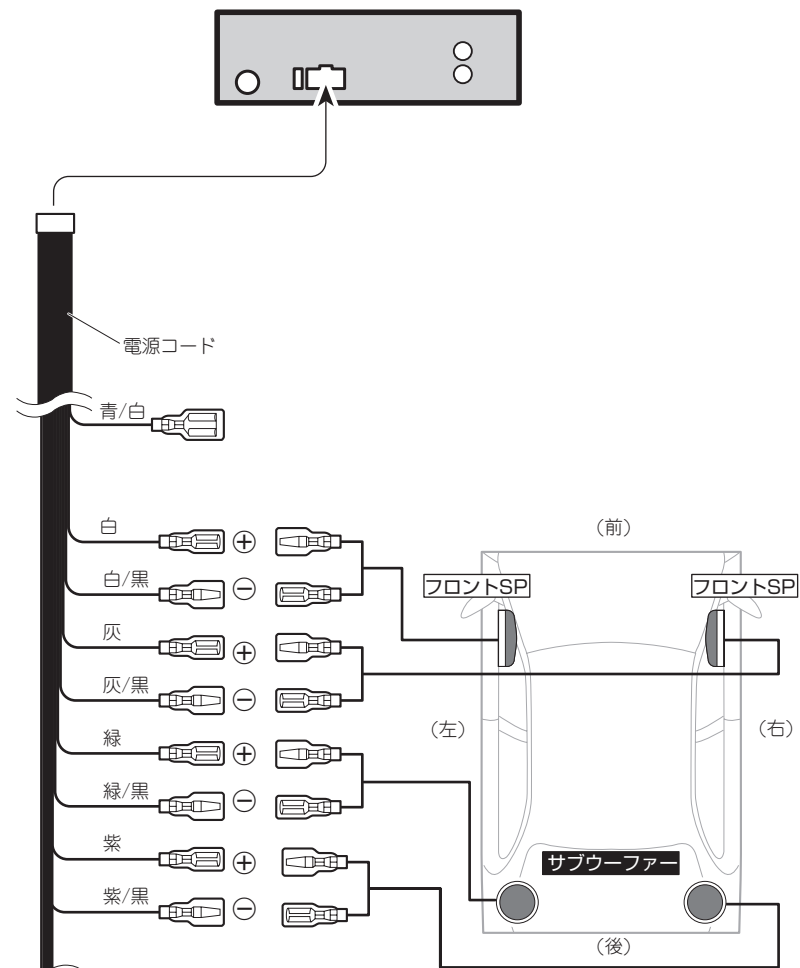


(⇒「本機のスピーカーリード線にリアスピーカーを接続する場合」
36ページ)

最大出力 50 W × 1ch/4 Ω

本機のスピーカーリード線にサブウーファーを接続する場合 (2)

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。



(⇒「本機のスピーカーリード線にリアスピーカーを接続する場合」
36ページ)

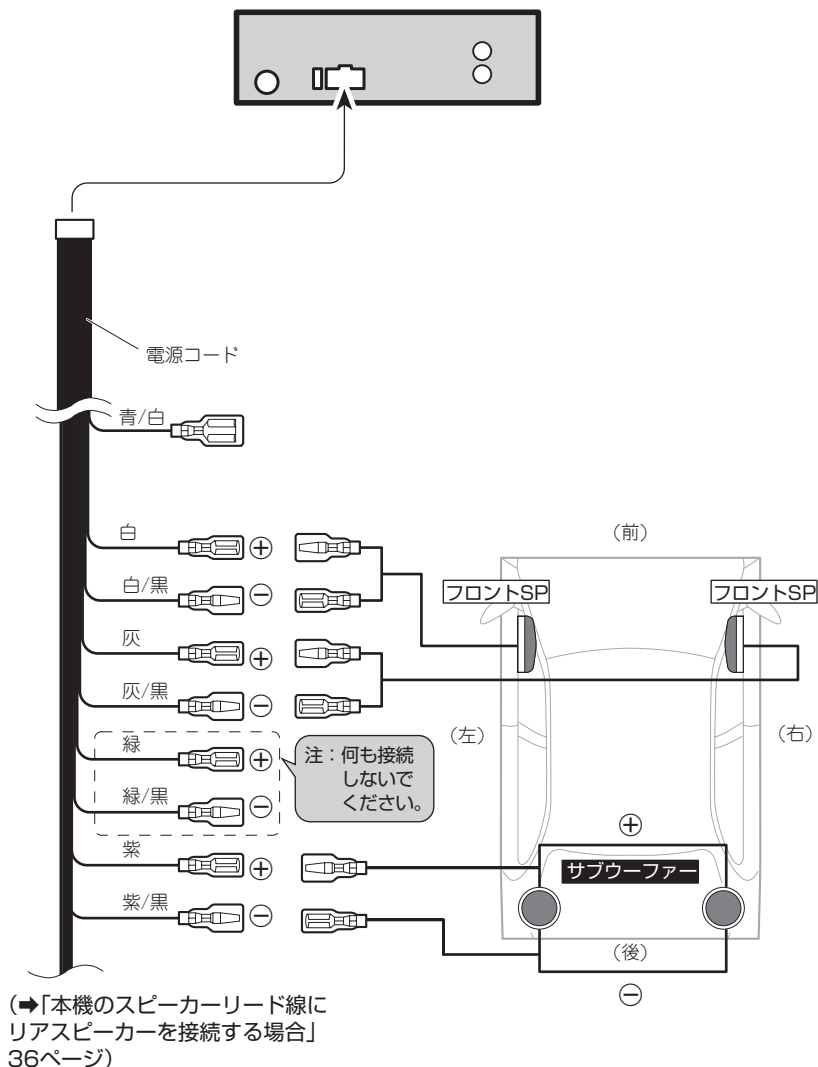
接続・取り付けと動作確認

最大出力 50 W × 2ch/4 Ω

本機のスピーカーリード線にサブウーファーを接続する場合 (3)

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

接続・取り付けと動作確認



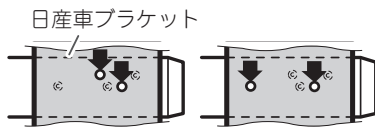
ここでは、サブウーファー (4 Ω) を並列に接続してサブウーファー (2 Ω) として使用しています。

最大出力 70 W × 1ch/2 Ω

本体を取り付ける

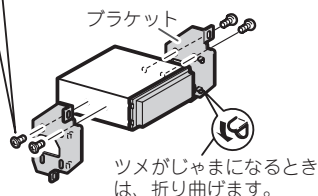
取り付け例（トヨタ車、日産車への取り付け）です。

■日産車の場合



3 ブラケットを付属のネジで取り付ける

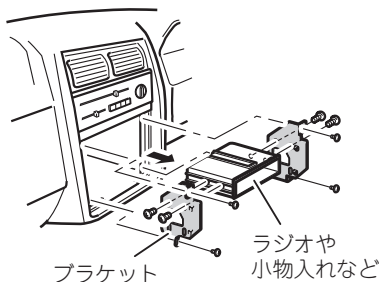
左側、右側、それぞれ2カ所ずつ、付属のネジでネジ留めして、元通り車に取り付けます。



1 車のラジオ、小物入れなどを取り外す

ラジオ、小物入れなどを取り外し、それらを留めているブラケットを取り外します。

そのブラケットを使用して、本機を取り付けます。



📌 ご注意

- 取り外すネジの位置などは車種により異なります。詳しくは、お買い上げの販売店、または、最寄りのディーラーにお問い合わせください。

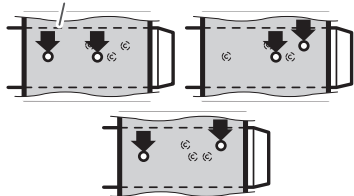
2 ネジ留めする位置を確認する

ブラケットを本機に重ねて、ネジ穴が合う位置を確認してください。

ブラケットのネジ穴は次のタイプがあります。

■トヨタ車の場合

トヨタ車ブラケット



フロントパネルの取り外しかた／取り付けかた

フロントパネルを取り外すことができます（デタッチャブル機構）。操作方法は（→「フロントパネルの取り外しかた／取り付けかた」8ページ）

動作を確認する

接続・取り付けが終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認してください。

1 接続・取り付けをもう一度確認する



確認

- 接続・取り付けに誤りがないか、各コネクタは確実に接続されているか、もう一度、目で見えて確認してください。

2 車のエンジンをかける



3 本機の動作を確認する

確認後にセットアップメニューが自動で起動しますので、設定を行ってください (⇒ 「初めて本体を使用する際の設定」 6 ページ)。

WMA / MP3 / WAV ファイルについて

●WMA とは？

- 「Windows Media™ Audio」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。WMA データは、Windows Media Player Ver. 7 以降を使用してエンコードできます。

ご注意

- WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- WMA ファイルをエンコードした Windows Media Player のバージョンによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- 本機で画像データを含む WMA ファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。

●再生できる WMA ファイルについて

ご注意

- WMA ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.wma) を付けてください。
 - 本機は、拡張子 (.wma) が付いているファイルを WMA ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WMA ファイル以外には拡張子 (.wma) を付けないでください。
- 再生可能な WMA ファイルのサンプリング周波数は 32 kHz ~ 48 kHz です。
 - WMA ファイルは一般的に、ビットレートが高いほど音質が良くなります。本機は、CBR (固定ビットレート) で 48 kbps ~ 320 kbps、VBR (可変ビットレート) で 48 kbps ~ 384 kbps の WMA ファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しむためには、より高いビットレートで記録することをおすすめします。
 - デジタル著作権保護 (DRM) で保護されたファイルは、再生がスキップされます。「SKIPPED」と表示されます。

- USB 機器内のすべてのファイルがデジタル著作権保護 (DRM) で保護されている場合、その圧縮オーディオファイルは再生できません。「PROTECT」と表示されます。
- この製品は、下記の形式には対応していません。
 - Windows Media Audio Professional (5.1ch)
 - Windows Media Audio Lossless (可逆圧縮)
 - Windows Media Audio Voice

●MP3 とは？

- 「MPEG Audio Layer-3」の略で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

●再生できる MP3 ファイルについて

ご注意

- MP3 ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.mp3) を付けてください。
- 本機は、拡張子 (.mp3) が付いているファイルを MP3 ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3 ファイル以外には拡張子 (.mp3) を付けないでください。

- ID3 tag の Ver. 1.0 / 1.1 / 2.2 / 2.3 / 2.4 のアルバム名、曲名、およびアーティスト名の表示に対応しています。なお、ID3 tag の Ver. 1.X と Ver. 2.X が混在している場合は、Ver. 2.X が優先されます。
- サンプリング周波数が 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz の MP3 ファイルを再生する場合のみ、エンファシスに対応します。なお、再生可能なサンプリング周波数は、8 kHz ~ 48 kHz です。
- MP3 ファイルは一般的に、ビットレートが高いほど音質が良くなります。本機は、CBR (固定ビットレート) では 8 kbps ~ 320 kbps の MP3 ファイルの再生に対応しています。また、VBR (可変ビットレート) の再生にも対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しむためには、128 kbps 以上のビットレートで記録することをおすすめします。
- m3u のプレイリストには対応していません。
- MP3i (MP3 interactive) フォーマット、および MP3 PRO フォーマットには対応していません。

次のページに続く

●WAV とは？

- ・「Waveform」の略で、Windows®での標準音声フォーマットです。

●再生できる WAV ファイルについて



ご注意

- WAV ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.wav) を付けてください。
- 本機は、拡張子 (.wav) が付いているファイルを WAV ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WAV ファイル以外には拡張子 (.wav) を付けしないでください。
- 本機は、LPCM 形式および MS ADPCM 形式でエンコードされた WAV ファイルの再生に対応しています。
- 本機は、LPCM 形式では 16 kHz ~ 48 kHz、MS ADPCM 形式では 22.05 kHz ~ 44.1 kHz のサンプリング周波数で記録された WAV ファイルの再生に対応しています。
- 表示されるサンプリング周波数の桁は、すべてではないことがあります。
- WAV ファイルは一般的に、量子化ビット数が高いほど音質が良くなります。本機は、LPCM 形式で 8 bit または 16 bit、MS ADPCM 形式で 4 bit の量子化ビット数で記録された WAV ファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しむためには、より高い量子化ビット数で記録することをおすすめします。

USB 機器について

- USB ポータブルオーディオプレーヤーや USB Mass Storage Class 対応の USB メモリーに収録された WMA / MP3 / WAV ファイルを再生できます。

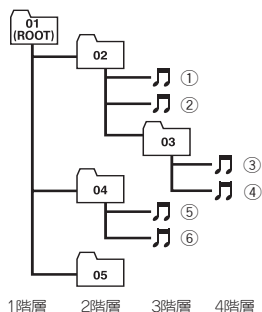


ご注意

- USB 機器を本機に接続する際は、別売の USB ケーブル (例: CD-U51E) を使用してください。USB ケーブルを使わずに直接接続すると、USB 機器が突起物となり危険です。指定の USB ケーブル以外は、使用しないでください。
- 接続する USB 機器によっては、ラジオにノイズの影響を与えることがあります。
- パーティションを作った USB メモリーは最初のパーティションのみ再生可能です。
- 使用する USB 機器の種類によっては、本機が正しく認識できない場合があります。また、曲を正しく再生できない場合があります。
- USB ハブを使用しての接続には対応していません。
- USB 機器を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、USB 機器は必ず固定してください。USB 機器が落下して、プレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。
- USB メモリー、USB オーディオプレーヤー以外 (USB 扇風機など) は接続しないでください。
- USB 機器の取り扱いについて詳しくは、それぞれの説明書をお読みください。
- 本機との組み合わせて使用時に携帯デジタルプレーヤーや USB メモリーのデータなどが消失した場合でも、その補償については責任を負いかねますのでご了承ください。

USB 機器内のフォルダーについて

- USB メモリー内のフォルダーと圧縮オーディオファイルの構成は、下図のようになります。USB ポータブルオーディオプレーヤーの構成は、プレーヤーによって異なります。



- 01 ~ 05 はフォルダー番号の割り当て、①~⑥は曲の再生順の例です。ユーザーが本機でフォルダー番号を割り当てたり、再生の順番を指定することはできません。
- 圧縮オーディオファイルの再生の順序は、USB メモリーにコピーされた順番と同じです。
- 再生の順序を指定するには、次の方法を推奨します。
 - ① パソコンで、「001xxx.mp3」や「099yyy.wma」など順番を示す数字をファイル名の先頭に付ける。
 - ② それらのファイルをフォルダーに入れる。
 - ③ フォルダー単位でUSB メモリーにコピーする。ただしパソコンの環境によっては、この方法で指定できない場合もあります。
- 再生できるファイルの合計は、最大 15 000 ファイルです。
- 再生できるフォルダーの合計は、最大 500 フォルダーです。
- 8階層までのWMA / MP3 / WAV ファイルの再生に対応しています。
- USB 機器のフォルダー階層が多い場合、再生が始まるまでに時間がかかります。
- 画像データを含む圧縮オーディオファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかります。

- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子を含めて 32 文字です。また、フォルダー名の最大表示文字数は 32 文字です。
- ファイルをエンコード / ライティングしたアプリケーションによっては、文字情報が正しく表示されないことがあります。
- m3u のプレイリストには対応していません。

iPod について

●本機が対応する iPod

- 本機は以下の iPod に対応しています。本機で確認済みのソフトウェアのバージョンは次のとおりです。これ以前のバージョンについては保証できません。

Made for

- iPhone 4 : Ver. 4.1
- iPhone 3GS : Ver. 3.0.1
- iPhone 3G : Ver. 2.0
- 第 6 世代 iPod nano : Ver. 1.0
- 第 5 世代 iPod nano : Ver. 1.0.1
- 第 4 世代 iPod nano : Ver. 1.0
- 第 3 世代 iPod nano : Ver. 1.0
- 第 2 世代 iPod nano : Ver. 1.1.2
- 第 1 世代 iPod nano : Ver. 1.2.0
- 第 4 世代 iPod touch : Ver. 4.1
- 第 3 世代 iPod touch : Ver. 3.1.1
- 第 2 世代 iPod touch : Ver. 2.1.1
- 第 1 世代 iPod touch : Ver. 1.1
- iPod classic 160G : Ver. 2.0.2
- iPod classic 120G : Ver. 2.0
- iPod classic : Ver. 1.0
- 最新の情報についてはカロツェリアホームページ (<http://carrozzeria.jp>) をご覧ください。
- 操作方法は、iPod の世代やソフトウェアのバージョンによって異なることがあります。
- iPod を接続するには、iPod 用 USB 変換ケーブル (例: CD-IU51) が必要です。
- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子を含めて 64 文字以内です。

次のページに続く



ご注意

- iPod は、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPod を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、iPod は必ず固定してください。iPod が落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。
- iPod の取り扱いについて詳しくは、iPod の説明書をお読みください。

● iPod の設定について

- ・ 音質効果を最適にするために、iPod が接続されると、本機は iPod の EQ の設定を自動的に「FLAT」に変更します。取り外すと、設定は自動的に元に戻ります。
- ・ iPod を本機に接続している場合、CTRL iPod モード中以外では、iPod のリピートは「オフ」に設定できません。また、iPod のリピートが「オフ」に設定されていても、本機に接続すると、自動的に「すべて」に変更されます。

故障かな？と思ったら

故障かな？ と思ったら

修理を依頼される前に、次の表の内容をチェックしてください。



それでも 直らないときは

「保証書とアフターサービス」をお読みになり、修理を依頼してください。

●共通項目

| 症状 | 原因 | 処置 |
|--|------------------------------|--|
| 電源を OFF にしても画面表示が消えない。 意図せずに画面表示が切り換わる。 | フィーチャーデモが ON になっている。 | フィーチャーデモを解除してください (⇒「デモモードについて」7 ページ、「フィーチャーデモを ON/OFF する」32 ページ)。 |
| 時計表示を ON にしても時計が常に表示されず、画面表示が切り換わる。 | | |
| 電源が入らない。 動作しない。 | 各リード線やコネクタが正しく接続されていない。 | 正しく確実に接続されているか、もう一度確認してください。 |
| | ヒューズが切れている。 | 車両のバッテリーのマイナス端子を外して、1 分後再接続してください。 ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズと同じ容量のものと交換してください。 |
| 音が出ない。 音が小さい。 | 音量を下げている。 | 音量を調節してください (⇒「基本的な操作」11 ページ)。 |
| | 前後の音量バランスの調節が適切でない。 | 正しく調節してください (⇒「前後左右の音量バランスを調節する」26 ページ)。 |
| 前または後ろのスピーカーから音が出ない。 | 前後の音量バランスの調節が適切でない。 | 正しく調節してください (⇒「前後左右の音量バランスを調節する」26 ページ)。 |
| 左または右のスピーカーから音が出ない。 | 左右の音量バランスの調節が適切でない。 | 正しく調節してください (⇒「前後左右の音量バランスを調節する」26 ページ)。 |
| 本機が誤動作する。 雑音が入る。 | 携帯電話などの電波発信機器を本機に近づけて使用している。 | 電波発信機器を本機から離してご使用ください。 |

●ラジオ

| 症状 | 原因 | 処置 |
|-----------------------------------|------------------------|---|
| ラジオの受信中、「ジージー、ザーザー」という雑音が多い。 | 放送局の周波数が合っていない。 | 周波数を正しく合わせてください (⇒「ラジオのふだんの操作」11 ページ)。 |
| | 放送局の電波が弱い。 | ほかの放送局を選局してみてください (⇒「ラジオのふだんの操作」11 ページ)。 |
| | 周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。 | 受信状態が良くなると、雑音が少なくなります。 |
| 自動選局できない。 | 放送局の電波が弱い。 | 手動で選局してください (⇒「ラジオのふだんの操作」11 ページ)。 |
| FM は受信するが、AM が受信できない。 受信感度が悪い。 | アンテナコントロールが接続されていない。 | アンテナコントロールを正しく接続してください (⇒「接続する」36 ページ)。 |
| | 自動車のアンテナが伸びていない。 | アンテナを十分に伸ばしてください。 |

次のページに続く

●AUX

| 症状 | 原因 | 処置 |
|------------------|-------------------------------|---------------------------------|
| 音が出ない。 音が小さい。 | 外部機器（AUX）の音量を下げて いる。 | 外部機器（AUX）の音量を調節して ください。 |
| | 抵抗入り AUX ケーブルを使用して 接続している。 | 抵抗なし AUX ケーブルを使用して 接続してください。 |

こんなメッセージが表示 されたら

正常に再生できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

●USBのエラー表示

| メッセージ（エラー番号） | 原因 | 処置 |
|--------------|---|---|
| 「CHECK USB」 | USB コネクターまたは USB ケーブルがショートした。 | USB コネクター／USB ケーブルが何かにはさまっていないか、破損していないか確認してください。 |
| 「N/A USB」 | 規定（⇒「おもな仕様」52 ページ）以上の電流を消費する USB 機器を接続した。 | 接続した USB 機器を外してください。そのあとで、車のエンジンスイッチを一度 OFF にしてから ON にしてください。次に、対応する USB 機器を接続してください。 |
| 「NO AUDIO」 | 接続された USB 機器が本機に対応していない。 | USB Mass Storage Class 対応の USB 機器を接続してください。 |
| 「NO AUDIO」 | 何も収録・保存されていない USB 機器を接続した。 | 対応する圧縮オーディオファイルを収録・保存された USB 機器を接続してください。 |
| 「PROTECT」 | セキュリティー機能付きの USB メモリーを接続した。 | USB メモリーの説明書に従って、セキュリティーを解除してから使用してください。 |
| 「PROTECT」 | USB 機器内のすべての WMA ファイルが Windows Media DRM 9 / 10 で保護されている。 | Windows Media DRM 9 / 10 で保護されていない圧縮オーディオファイルを収録・保存した USB 機器を接続してください。 |
| 「SKIPPED」 | Windows Media DRM 9 / 10 で保護された WMA ファイルを再生した。 | Windows Media DRM 9 / 10 で保護されていない圧縮オーディオファイルを再生してください。 |
| 「ERROR-19」 | 正常に通信できない。 | 以下のいずれかの処置を行ったあと、ソースを USB に切り換えてください。車のエンジンスイッチを一度 OFF にしてから ON する。／接続した USB 機器を一度外してから接続する。／別のソースに切り換える。 |
| 「ERROR-23」 | 接続された USB 機器のフォーマットが、FAT32 / FAT16 か FAT12 ではない。 | フォーマットが、FAT32 / FAT16 か FAT12 の USB 機器を接続してください。 |
| 「NO DEVICE」 | USB/iPod ソース自動切り換え設定が OFF の場合に、USB 機器が接続されていない。 | USB/iPod ソース自動切り換え設定を ON にしてください（⇒「USB/iPod ソースの切り換え方法を設定する」31 ページ）。 対応する USB 機器を接続してください。 |

● iPod のエラー表示

| メッセージ (エラー番号) | 原因 | 処置 |
|---------------|--|--|
| 「CHECK USB」 | iPod は動作するが、充電されない。 | iPod ケーブルがショートしていないか (たとえば、金属物にはさまれていないか) 確認してください。確認後、車のエンジンスイッチを一度 OFF にしてから ON にするか、iPod を一度脱着してください。 |
| 「ERROR-19」 | 正常に通信できない。 iPod に問題が発生した。 | コネクタを一度外し、iPod のメインメニューが表示されてから、もう一度確実にコネクタを接続してください。それでも iPod が正常に動作しない場合は、iPod をリセットしてください。 |
| 「ERROR-16」 | iPod ソフトウェアのバージョンが古い。 iPod に問題が発生した。 | iPod ソフトウェアのバージョンをアップデートしてください。 コネクタを一度外し、iPod のメインメニューが表示されてから、もう一度確実にコネクタを接続してください。それでも iPod が正常に動作しない場合は、iPod をリセットしてください。 |
| 「NO SONGS」 | iPod に曲が入っていない。 | iPod に曲を転送してください。 |
| 「STOP」 | 選んだプレイリストに曲が入っていない。 | 曲が入っているプレイリストを選んでください。 |
| 「NO DEVICE」 | USB/iPod ソース自動切り換え設定が OFF の場合に、iPod が接続されていない。 | USB/iPod ソース自動切り換え設定を ON にしてください (▶「USB/iPod ソースの切り換え方法を設定する」31 ページ)。 対応する iPod を接続してください。 |

●保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

●保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

●保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付センター（沖縄県のみ沖縄サービス認定店）にご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

●保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店または修理受付センター（沖縄県のみ沖縄サービス認定店）にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

●補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

●ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

●WMA

Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

本製品は、米国 Microsoft Corporation が所有する技術を使用しています。また、米国 Microsoft Licensing Inc. の許可を得ずに使用または頒布できません。

●MP3

本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ <http://www.mp3licensing.com> をご覧ください。

- ・ 営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送（地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア）、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。

●iTunes

iTunes は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

● iPod & iPhone

iPod、iPod classic、iPod nano、iPod touch は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。



「Made for iPod」および「Made for iPhone」とは、それぞれ iPod あるいは iPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。このアクセサリを iPod あるいは iPhone と使用することにより、無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

おもな仕様

●共通部

| | |
|---------|--|
| 使用電源： | DC 14.4 V (10.8 V ~ 15.1 V 使用可能) |
| アース方式： | マイナスアース方式 |
| 最大消費電流： | 10.0 A |
| 外形寸法 | (取付寸法) : 178 (W) mm × 50 (H) mm × 165 (D) mm (ノーズ寸法) : 170 (W) mm × 46 (H) mm × 16 (D) mm |
| 質量： | 0.8 kg (コード含まず) |

●アンプ／オーディオ部

| | |
|---------------|--|
| 最大出力： | 50 W × 4 50 W × 2 ch / 4 Ω + 70 W × 1 ch / 2 Ω (for サブウーファー) |
| 定格出力： | 22 W × 4 (50 Hz ~ 15 000 Hz, 5 % THD, 4 ohm LOAD, Both Channels Driven) |
| 負荷インピーダンス： | 4 Ω (4 Ω ~ 8 Ω 使用可能) |
| プリアウト最大出力レベル： | 2.2 V |
| インピーダンス： | 1 k Ω |
| トーンコントロール | (バス) 周波数 : 100 Hz ゲイン : ± 12 dB (ミッド) 周波数 : 1 kHz ゲイン : ± 12 dB (トレブル) 周波数 : 10 kHz ゲイン : ± 12 dB |
| サブウーファーアウトブット | 周波数 : 50 Hz / 63 Hz / 80 Hz / 100 Hz / 125 Hz スロープ : -18 dB/oct 調整幅 : -24 dB ± 6 dB 位相 : NORMAL / REVERSE |

●USB 部

| | |
|--------------------|--|
| USB 規格： | USB 2.0 Full Speed |
| 最大供給電流： | 1 A |
| USB クラス： | マスタストレージクラス |
| ファイルシステム： | FAT12、FAT16、FAT32 |
| MP3 デコーディングフォーマット： | MPEG-1 & 2 AUDIO LAYER-3 |
| WMA デコーディングフォーマット： | Ver. 7、7.1、8、9、10、11、12 (2 ch audio) (Windows Media Player) |
| WAV シグナルフォーマット： | Linear-PCM、MS ADPCM |

●FM チューナー部

| | |
|--------------|---|
| 受信周波数帯域： | 76.0 MHz ~ 90.0 MHz |
| 実用感度： | 9 dBf (0.8 μV / 75 Ω、モノラル、S/N : 30 dB) |
| S/N： | 72 dB (IHF-A ネットワーク) |
| 高調波歪率： | 0.3 % (65 dBf 入力、1 kHz、ステレオ)、 0.1 % (65 dBf 入力、1 kHz、モノラル) |
| 周波数特性： | 30 Hz ~ 15 000 Hz (± 3 dB) |
| ステレオセパレーション： | 45 dB (65 dBf 入力、1 kHz) |

●AM チューナー部

| | |
|----------|--------------------------|
| 受信周波数帯域： | 522 kHz ~ 1 629 kHz |
| 実用感度： | 25 μ V (S/N : 20 dB) |
| S/N： | 62 dB (IHF-A ネットワーク) |

●付属品



| | |
|-----------------|-----|
| コードユニット： | 1 |
| 取付ネジ類： | 1 式 |
| 取扱説明書： | 1 |
| 安全上のご注意： | 1 |
| 保証書： | 1 |
| ご相談窓口・修理窓口のご案内： | 1 |
| お客様登録のお願い： | 1 |



メモ

- 上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

「0120」で始まる  フリーコールおよび  フリーコールは、携帯電話・PHS一部のIP電話などからは、ご使用になれません。

また、【一般電話】は、携帯電話・PHS・IP電話などからご利用可能ですが、通話料がかかります。

正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので発信者番号の通知にご協力いただけますようお願いいたします。

ご相談窓口のご案内 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口 ● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■ カーオーディオ／カーナビゲーション商品

電話  **0120-944-111** 【一般電話】 **044-572-8101**

ファックス **044-572-8103**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>

※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかをご確認ください。

それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

修理についてのご相談窓口 ● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

修理受付窓口（沖縄県を除く全国）

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話  **0120-5-81028** 【一般電話】 **044-572-8100**

ファックス  **0120-5-81029**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/repair/>

※家庭用オーディオ/ビジュアル商品はインターネットによる修理のお申し込みを受付けております

沖縄サービス認定店（沖縄県のみ）

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話 【一般電話】 **098-987-1120**

ファックス **098-987-1121**

部品ご購入についてのご相談窓口 ● 部品（付属品・リモコン・取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話  **0120-5-81095** 【一般電話】 **044-572-8107**

ファックス  **0120-5-81096**

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.045

パイオニア株式会社

〒212-0031

神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号

© パイオニア株式会社 2011

<KFWZX> <11K00000> <QRA3017-C/S>